

# 細川連立内閣の悪政をやめさせ、不況打開、リストラ「合理化」反対、 大幅賃上げ・労働時間短縮、94国民春闘勝利をめざす闘争宣言（案）

94国民春闘をたたかう私たちには二つの大きな課題があります。一つは、大幅賃上げ・労働時間短縮を実現し、不況打開と雇用の確保をはかり、年金改悪反対などの諸要求を実現することであり、もう一つは、国民犠牲の強権政治をすすめ、憲法改悪をねらう小選挙区制導入策動を断固阻止することです。

不況はいっそう「消費不況」の様相をふかめ長期化し、不況の打開が国民的課題となっているにもかかわらず、日経連・財界は「賃金抑制・切下げ」を主張し、大企業はリストラ・人べらし「合理化」の強行で労働者、中小企業・中小業者に犠牲を転嫁しています。細川連立政権は大企業向けの「景気対策」に終始し、労働者・国民の願いである減税は据え置き、年金の大改悪、医療・福祉の切捨てをすすめ、消費税率引き上げもおこなおうとしています。これでは不況がいっそう深刻化するだけです。

「94あいちビクトリーマップ」で明らかにされたように愛知の主要企業152社の内部留保の合計は1兆1000億円にも達し、昨年より3,925億円も増やしています。従業員一人当りの内部留保は、2,774万円ばかりに35,000円の賃上げを実現するとしても、わずか2.27%を取り崩すだけで可能です。また、愛知の全労働者の賃金を35,000円引き上げれば、1兆3,486億円もの生産誘発効果があり、不況打開へ向けて大きな影響を及ぼします。

「連合」はマスコミでも「問われる労使協調」「労働者守れぬ労組」と報道され、オークマでの56歳への定年制引き下げや肩たたきなどの実質的な指名解雇への協力、賃上げ要求引き下げなど、労働者の要求実現をはばんでいます。

94国民春闘の争点は明確であり、たたかうローカルセンター愛労連の役割は重大です。

賃金抑制・切下げ攻撃を許さず、「大幅賃上げ、生活の改善で国民本位の不況打開を」「人べらし・『合理化』反対、時短で雇用の確保を」など積極的な要求をかかげてたたかきましょう。国民本位の不況打開、大企業の横暴規制、大幅減税、消費税率引き上げ反対、年金、医療・福祉、教育、コメなど国民的課題を一体のものとし、国民的共同をめざし、職場・地域からたたかいをまきおこすとともに、ヤマ場ではストライキで決起しましょう。細川連立内閣の悪政をやめさせ、小選挙区制策動粉碎、金権腐敗政治の一掃、平和と民主主義を断固守りましょう。

単産・地域労連がそれぞれの役割を発揮し、「一致する課題」での労働組合や諸団体との共同を大きく前進させるとともに、未組織労働者の組織化など愛労連の拡大・強化に奮闘しましょう。

1994年 1月30日

愛知県労働組合総連合第10回臨時大会